

# なかがみ

第149号

編集と発行

中部農業改良普及センター

〒904-2155 沖縄県沖縄市美原1丁目6番34号  
(沖縄県中部合同庁舎2階)

電話 098-894-6521

F A X 098-937-2502

## 中部地区から3名の新たな農業士が認定されました！

沖縄県では、将来の地域農業を担う先進的農業経営者の育成並びに女性の主体的社会参画を促進するため、「青年農業士」、「指導農業士」及び「女性農業士」を認定しています。令和5年度は中部地区から女性農業士1名、指導農業士2名が新たに認定されました。



↑指導農業士 仲宗根工氏



↑女性農業士 幸地あられ氏



↑指導農業士 佐渡山安廉氏

### ●女性農業士 幸地 あられ氏 (うるま市)

中部地区和牛改良組合うるま支部副部長、うるま市農地利用最適推進委員等を務め、これまで若手女性農業者として地域農業情勢に関する農政との意見交換会において意見を述べる等、女性リーダーとして意欲的に活動を行っている。

### ●指導農業士 仲宗根 工氏 (沖縄市)

平成29年に青年農業士に認定され、各種組織活動で役員を務め、組織の活性化に尽力される。地元の小中学校の職場体験学習や農林高校及び農業大学校からの実習生を受け入れる等、担い手育成に精力的に取り組み、さらに農福連携に積極的に取り組み地域に大きく貢献されている。

### ●指導農業士 佐渡山 安廉氏 (沖縄市)

平成23年度に青年農業士に認定され、中部和牛改良組合を牽引するリーダー的存在であり、県産優良和牛育種の創出に尽力される。地元の小中学校の職場体験学習や農林高校及び農業大学校からの実習生を受け入れるなど、担い手育成に精力的に取り組み、地域に大きく貢献されている。

# 「基腐病」「イリムサー」の薬剤防除体系の紹介

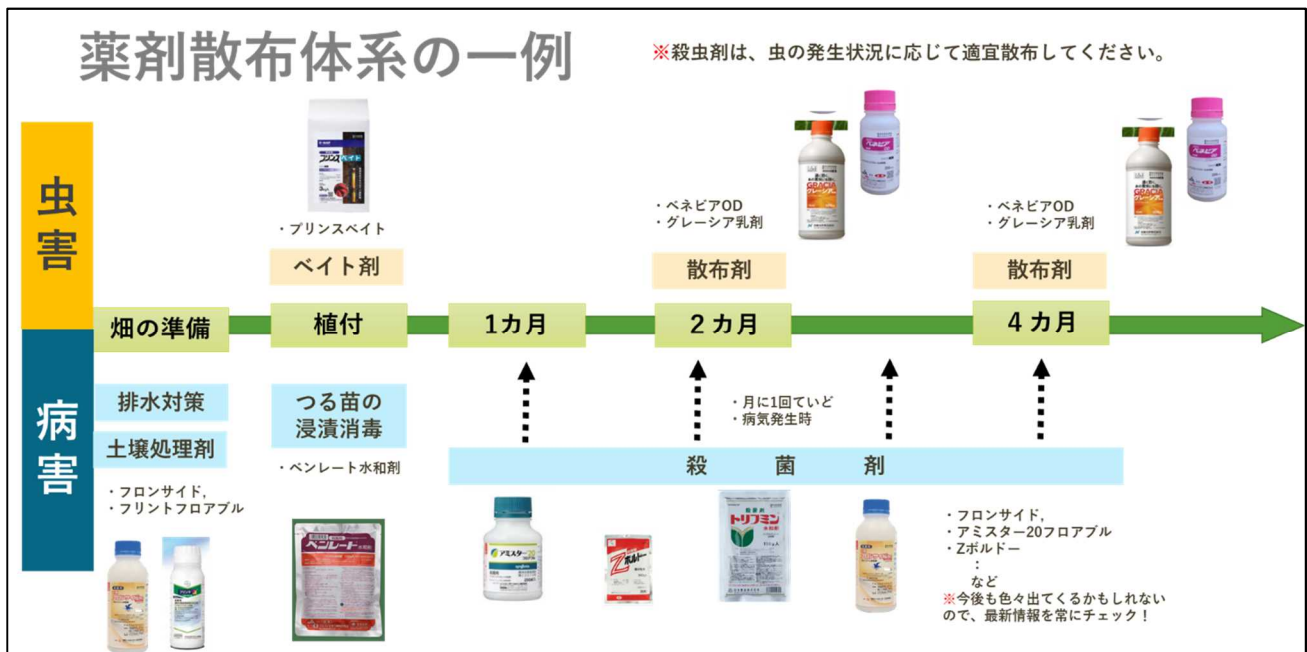
・かんしょの生産においては、「基腐病」や「イリムサー（ゾウムシ類）」の予防的な対策が重要です。下記の薬剤散布体系を参考に、出来る範囲で取り組みましょう。

## 薬剤防除のポイント

○植付時に使用したベイト剤のゾウムシ類の忌避効果は、2ヶ月程度持続します。その後は1～2カ月に1回程度、ベネビアODやグレーシア乳剤等の定期散布を行います。

○基腐病対策は、**植付前**に土壌処理(フロンサイドSC、フリントフロアブル等)、**植付時**につる苗を浸漬消毒(ベンレート水和剤)、**植付後**に殺菌剤の定期散布(フロンサイドSC、アミスター20フロアブル、Zボルドー等)と、各生産段階で適切な薬剤を使用します。

○病気や虫の予防で最も効果のあるのは、**連作を避ける**ことです。可能な限り異なる品目との輪作や、緑肥を利用することを検討しましょう。



※上記の散布体系は、一例です。病気・虫の被害の発生が確認されたら、適宜散布してください。また、農薬の登録情報は定期的に更新されます。上記以外にも登録のある農薬もあるので、使用の際には農薬ラベルを確認するとともに最新の登録情報をご確認ください。

※植付前の土壌処理剤としてフリントフロアブルを用いた場合は、栽培期間中の殺菌剤はアミスター20フロアブル以外を使用して下さい。両材を併用すると、耐性菌が出現することがあります。

使用方法等にご不明な点があれば、中部農業改良普及センターまでお問い合わせください。



# 北中城村におけるパッションフルーツ産地育成

令和2年度より北中城村において、地域農業振興総合指導事業を導入し、「パッションフルーツ産地育成」の課題に取り組んでいます。令和5年度からは、「産地リーダーの育成」や「反収1.2t以上の農家育成」を目標として活動を行っています。

## 1 産地モデル農家の育成支援

北中城村のパッションフルーツ重点指導農家を中心として9月にリーダー研修会を実施し、植物生長の仕組みなどの内容で研修を行いました。これにより、生長に必要な条件などについて確認することに繋がりました。また、GAP指導を1戸の農家で行い、生育状況を確認しながら追肥することを実践し、GAPの指導項目である肥料成分の利用効果向上対策に取り組みました。



リーダー研修会



EC測定状況

## 2 パッションフルーツ反収向上への支援

展示圃を設置し、曇天時における生育不良対策として、アミノ酸を散布することによる栽培の検討を行っています。アミノ酸散布は10日に1回程度行い、収穫まで引き続き調査を行っていくことにしています。12月には地農指事業の関係者が集まり、現地検討会を行いました。そして、現時点でのアミノ酸散布区と散布無区の栽培状況確認を行いました。



アミノ酸散布

## 3 産地支援体制の確立

総合指導チーム会議を地農指事業関係者が集まり5月と12月に実施しました。会議では、推進会議委員の農家選定や事業計画などの意見交換を行いました。そして、推進会議において事業計画やモデル農家育成などの説明を行いました。事業の目標として、「反収1.2t以上を目指す」「北中城村全体で3t以上を目指す」ということが確認されました。

来年度も関係機関が連携し、パッションフルーツ産地育成の課題に取り組んでいきます。



総合指導チーム会議



地農指推進会議

**沖縄県青年農業者会議 意見発表・プロジェクト活動 県代表に決定**

令和5年度沖縄県青年農業者会議が11月7日に開催され、中部地区農業青年クラブ代表として意見発表の部「女性が働きやすく、長く続けられる農業をめざして」藤村美紀氏が最優秀賞、プロジェクト発表の部「ファンと作る識名農園」識名共史氏が優秀賞を受賞した。藤村氏と識名氏は県代表として九州大会派遣が決まりました。

中部地区から2名も代表に選ばれた結果に、青年クラブのメンバーや普及センター職員が歓喜にあふれました。

意見発表では、女性目線による就農の苦労や家族の支えの大切さと今後女性が働きやすい農業になるための展望、プロジェクト発表では、たまねぎの栽培を通し有機農業の認知度向上を図る取組の発表を行いました。

二人は結果に満足していながらも、令和6年宮崎県開催での九州大会に向けて、さらに良い発表に仕上がるよう準備を進めています。普及センターは引き続き発表支援を行っていきます。



意見発表最優秀賞：藤村美紀氏、  
プロジェクト発表優秀賞：識名共史氏



**おきなわ花と食のフェスティバル・品評会にて入賞者多数選出**

	名	前	市町村	品目名
花き	農林水産大臣賞	眞榮喜正吉	うるま市	小ぎく
	農林水産省農産局長賞	山内慶子	読谷村	ドラセナ
	沖縄県議会議長賞	天久学	宜野湾市	観葉鉢物
	日本花き卸売市場協会会長賞	田場恒昭	うるま市	小ぎく
	金賞	眞榮喜久子	うるま市	小ぎく
		山内慶子	読谷村	ドラセナ
	銀賞	與古田浩	うるま市	小ぎく
		田場則昭	うるま市	小ぎく
		金城光	うるま市	小ぎく
		禰覇盛康	北中城村	ドラセナ
		川上義和	沖縄市	ユーカリ
	銅賞	石嶺剛	読谷村	観葉鉢物
		兼島兼正	沖縄市	小ぎく
		川上義和	沖縄市	小ぎく
		金城孝	うるま市	小ぎく
		眞榮喜正博	うるま市	小ぎく
金城築太		うるま市	小ぎく	
与那嶺悟		沖縄市	スターチス	
外間元栄		沖縄市	ラン	
山内清英		読谷村	ドラセナ	
島袋真史		うるま市	観葉鉢物	
比嘉英子	読谷村	観葉鉢物		

	名	前	市町村	品目名
野菜	金賞	石川浩樹	うるま市	さやいんげん
		與儀安信	中城村	島にんじん
		高江洲繁	沖縄市	食用菊
	銀賞	山城隆	うるま市	食用菊
		石原昌春	西原町	キャベツ
	銅賞	新垣直也	中城村	トマト
		農業生産法人西原ファーム	西原町	ハーブ類(バジル)
		當山孝昌	沖縄市	さやいんげん
		國吉真一郎	読谷村	メロン
	沖縄県農林漁業賞	安里千恵子	北中城村	洋ラン、切り花

「おきなわ花と食のフェスティバル2024」が開催され、中部地区から農林水産大臣賞をはじめ多数の入賞がありました。さらに、これまでの活動実績が認められ、安里千恵子さんが沖縄県農林漁業賞（部門：農山漁村地域活性化）を受賞し表彰されました。

受賞者のみなさま、大変おめでとうございます。今後とも、中部地区の農業振興にご協力をお願いします。